

来聴歓迎！！

加藤・山崎記念基金 特別講演会

役に立つロボットは どうすれば作れるか

浦 環 氏

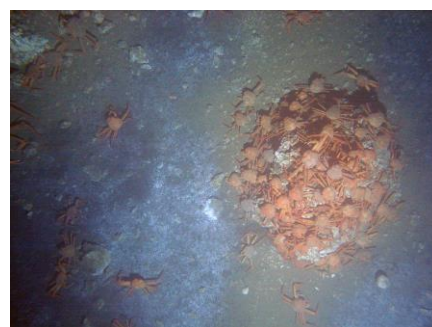
九州工業大学社会ロボット具現化センター センター長

日 時:2014年1月20日(月)10時45分～12時15分

場 所:京田辺キャンパス 知真館 TC2-203 教室

講演内容

ロボットはハードとソフトと両方にバランスがとれて作られる。ロボットは働く。しかし、その働きが役に立つのだろうか。ロボットのハードの性能は、仕様書を見れば直ぐにわかる。しかし、ソフトの性能は分からない。ロボットの働きを見なければならぬのである。暗くて冷たい海の底で働くロボットや原子力発電所の放射線量の高い建屋内で働くロボットなどの働きを見て、働くロボットを作るにはどうすればよいかを講義する。



900m 水深のメタンハイドレート地帯に棲息するベニズワイガニ(自律型海中ロボット「ツナサンド」で撮影)

加藤・山崎記念基金

加藤与五郎博士の主張される「学問の新しい流れを創る研究、新しい工業を創成する独創的な研究」を実践できる若い研究者を育成するために、山崎舜平氏の尽力により設けられた基金。



主催：同志社大学理工学研究所 加藤・山崎記念基金運営委員会

共催：同志社大学理工学部，生命医科学部，脳科学研究科，リエゾンオフィス

問い合わせ先：同志社大学理工学研究所事務室 (TEL:0774-65-6220)